



西暦の人
杉山良太
次50年、100年も愛され続けるホテルへ



総力特集

“民間力”活用で進む行政改革

民間委託・官民連携

FOCUS
九州・沖縄の地産11行
新任トップに聞く
福岡県産 養豚専攻士工業体
住居企業
福岡ひびき情報産産
ZOOM UP
ピー・ピーシステムズ
Bizサポ
福岡県産物振興会



新年の発展を願って乾杯



秋吉英治
九州経済産業局産業部長



武内和久
北九州市長



三谷俊介会長



三谷会長と小林専司福岡県中経協連合会会長



田仲常郎
北九州市議会議長



野畑昭彦
北九州商工会議所副会頭



左から中野修司北九州戸畑ライオンズクラブ会長、川畑邦人北九州中経協監事、神谷辰生同専務理事、石原孝七郎アンサープロパティ代表取締役

新年祝賀会を開いた。会員や関係者ら約1500人が参加。式典で三谷会長は「国内の99.7%は中小零細企業であり、我々の社会的責任は非常に大きい。そうした中で、経営者は励まされているようではない。励ます立場として、勇気を持って挑戦していく一年にしよう」と呼びかけた。祝詞交歓会では、新年のあいさつとともに、杯を酌み交わしながら、親睦を深め合っていた。

北九州中小企業経営者協会

（一社）北九州中小企業経営者協会（北九州市小倉北区古船場町、三谷俊介会長）は1月18日、JR九州ステーションホテル小倉で新年祝賀会を開いた。

勇気を持って挑戦する一年に



（左から）三谷俊介アンサーホールディングス社長、大家敏志参議院議員、高宮俊壽タカミヤ会長



「ともに北九州を盛り上げましょう」石田真一ギラヴァンツ北九州社長（左）、三谷俊介アンサーホールディングス社長



西田宏二ミクニ社長（左）と三谷俊介アンサーホールディングス社長

ふくおか経済 2月号

業界NEWS ダイジェスト②

（アンサープロパティ）

首都圏エリアの不動産売買仲介、買取事業の強化と情報収集、人材獲得が狙い。場所は日本橋税務署東側の「SOHO30」3階。スタッフは3人。アンサーホールディングスの三谷俊介社長は「グループ初の関東進出。一般上位市場へのステップアップを見据え、次世代の育成に加えて事業の醸成を図って

東京プロマーケット上場の（株）アンサーホールディングス（福岡市博多区博多駅東2丁目、三谷俊介社長）傘下で、不動産売買仲介などを展開する（株）アンサープロパティ（石原孝七郎社長）は、10月1日付で本社を北九州市小倉北区浅野2丁目から東京都中央区日本橋富沢町に移転した。

8台。24年1月下旬の販売開始を予定している。同社は1889年創業、1990年2月設立。資本金5000万円。2022年10月期売上高は115億円。従業員120人。

アンサープロパティ

東京都中央区に本社移転

いく」と話している。

業界NEWS ダイジェスト①

（松本監査役）

共同で「北九州監査法人」を設立
小島氏、松本氏ら公認会計士5人の小島庸匡統括代表社員、小島智也代表社員と、松本一哉松本一哉公認会計事務所代表、吉野任よしの総合会計事務所所長、待鳥益男公認会計士の5人は12月13日、共同で監査法人を設立した。

法人名は「北九州監査法人」。有限責任監査法人トーマツやあずさ監査法人など、大手会計事務所での経験を生かしつつ、中堅企業をはじめとした地元企業をサポートしていく。業務内容は監査業務、非監査業務、AUP（合意された手続き）、財務デューデリジェンス、IPO支援、その他アドバイザリー業務など。エリアは原則として北九州市および周辺地域を想定している。本店は税理士法人小島パートナーズ（北九州市八幡東区中央2丁目）内に置くが、「現在小倉駅から紺屋町に差し掛かるエリアで事務所を検討中」（小島智也氏）という。112月中に事務所を確定し、4月からの業務開始を目指す。

は監査業務、非監査業務、AUP（合意された手続き）、財務デューデリジェンス、IPO支援、その他アドバイザリー業務など。エリアは原則として北九州市および周辺地域を想定している。本店は税理士法人小島パートナーズ（北九州市八幡東区中央2丁目）内に置くが、「現在小倉駅から紺屋町に差し掛かるエリアで事務所を検討中」（小島智也氏）という。112月中に事務所を確定し、4月からの業務開始を目指す。

小島智也氏は「北九州は政令指定都市にも関わらず、地域の監査法人がない。いろいろな人の英知とノウハウを結集し、より良いサービスを提供していく。また、北九州で働きたい会計士の受け皿になりたい」と話している。